

月例会「レーダ気象」のプログラム

日時 昭和54年2月23日(金) 13:00—17:00

場所 気象庁3号庁舎 観測部会議室

講演題目

I. レーダデータのデジタル化と調査結果について

- 1) 青柳二郎(気象研究所): MTI 気象レーダによる降水エコー測定精度と大地消去比特性について
- 2) 青柳二郎(気象研究所): レーダ雨域特性の諸問題について
- 3) 観測課(名古屋地方気象台): DIREP 資料の解析

4) 志崎大策(気象庁測器課): カラー表示装置による気象エコーについて(8mm映画)

II. レーダ協同調査結果について

- 1) 武田重夫・田沢秀隆(東京管区気象台技術課): アメダス雨量とレーダ雨量の比較
- 2) 武田重夫・田沢秀隆(東京管区気象台技術課): アメダスの風・気温とレーダエコーの発生について
- 3) 柳沢善次・古川武彦(気象研究所): レーダエコーの発達と地上風との関係について

月例会「長期予報と大気大循環」のプログラム

日時 昭和54年3月3日(土) 9:30~12:00

会場 気象庁予報部会議室(予定)

発表題目

1. 暖(寒)冬・冷(暑)夏の循環的考察
久保木光熙(気象庁長期予報課)
2. 極東域の東西指数と超長波
荒井 康(気象庁長期予報課)

3. 月平均気温の1年予報(II)

広瀬 元孝(気象研究所)

4. シベリアの積雪面積と日本の夏の循環

朝倉 正・平沼洋司(気象庁長期予報課)

5. 地磁気と気象

柳原 一夫(名古屋地方気象台)

都合により12月号お知らせの日時は上記のように変更。

昭和54年度朝日学術奨励金推薦応募要領

1. 本奨励金の贈呈対象は、個人、グループ、団体を問いません。独創的な研究で研究費に恵まれない研究者の応募を期待します。いくつかの学問領域にまたがる、いわゆる「学際研究」も歓迎します。
2. 対象となる研究は、継続中のものでも、これから始めるものでも結構です。また同じ研究に対して継続して贈呈する場合もあります。
3. 応募は原則として学界の関係者からの推薦が望まれています。「昭和54年度朝日学術奨励金候補推薦応募用紙」は、〒100 東京都千代田区大手町1-3-4

気象庁予報部電計室 新田 尚

Tel (03) 212-8341 内449

まで御請求下さい。

4. 奨励金の希望金額には、特に制限はありません(なお、昨年度の贈呈金額は6研究に対して合計830万円でした)。
5. 朝日新聞社内に設けられた選定委員会が、候補研究につき学界各方面の意見をきき、選定します。
6. 締め切りは2月28日(朝日新聞社到着)です。